

事業計画具体策

1) 組織の拡充と活性化

- ① 会員拡充目標 会員数 700 名 480 世帯。(2018 年 3 月末現在会員数 677 名・467 世帯)
- ② 時間預託活動 年間 6500 時間、活動人員 200 名、助け合い提供者 150 名を目指す。
- ③ シルバー大学校卒業ガイダンスへの参加、説明会の実施で新会員を勧誘する。。
- ④ 毎月第 4 月曜日を新会員懇談の日とし理解を深め実働会員の増加につなげる。

2) 顔の見えるブロック組織・信頼と安心が得られる体制づくり

- ① ブロック長・事務局長(局次長)・運営委員を中心に、ブロック交流会・各種ミニ懇談会など声かけ運動で仲間づくりによる助け合い活動の充実をはかる。
- ② ブロック交流会促進策として予算を計上する。
- ③ 会報配布協力者に会員との情報収集伝達の役割を期待する。

3) 介護予防・日常生活支援総合事業「サービス B」への積極的な参入を行う

- ① 新規事業(日常生活支援総合事業)への参入で地域社会への貢献を強くアピールし会員の意欲向上と地域ぐるみで会の活性化を進める。
- ② ブロック別に新規事業推進説明会を実施し早急に活動可能な地域を拡大する。
- ③ 新規事業担当に相応しい活動会員づくり研修会を実施する。
- ④ 新規事業推進システムの確立とその事務体制を確立し行政への提言を行う。
- ⑤ ポイント事業は更なる活動先の確保と活動会員の拡大を推進する。

4) 高齢者の安心安全を支援する体制づくりを行う

- ① 「ナルク栃木市民後見人会」の対応力向上のため事例研修を中心に継続的な研修と、併せて優しさと思いやりの心で「お一人様」を支援する活動を広く啓蒙する。
- ② 「とちの実八十路けんこう会」など高齢者の豊富な経験と能力を活かした活動と、全会員の行動力を総合した新しいサービスの創設を検討する。

5) 子育て・子育て支援活動の充実と若い会員獲得への体制作り

- ① 「どんぐり育苗出前授業」をはじめ「思いやり教室」昔遊びなど「学童保育」に出向き思いやりのある子供の育成支援活動を進める。
- ② 済生会乳児院育児支援は子どもたちの健康な成長発達を願い引き続き実施する。
- ③ 支援活動会員の増員を図り支援する対象を拡大する。

6) 地域環境を守る活動・地域社会に対する奉仕活動を継続する

- ① 地域環境を守る4重点活動を推進する。

- ・とちぎ夢大地応援団活動
 - ・足尾植樹作業
 - ・大谷クリーンキャンペーン
 - ・よみがえれ大谷プロジェクト
- ② 老人福祉施設慰問活動・幸の会・うたごえとも友を継続して実施する。

7) 全体交流会・月例会員交流会・同好会・親睦交流会を積極的に実施する

- ① 月例会交流会は「楽しいナルクづくり」と「健康づくり」「仲間づくり」の場とする。
- ② 新年会・暑気払い・芋煮会を「顔の見えるナルク重点3行事」として継続実施する。
特に、芋煮会用の里芋その他野菜類の栽培の参加協力者を募る。
- ③ 各種同好会活動は、仲間づくり・生きがいつくり、さらには時間預託活動・奉仕活動参加の動機付け機会として継続実施する。
- ④ 全ての行事に声かけ誘い合い相乗り助け合う習慣づけを行い参加率の向上を進める。
- ⑤ 会員の親睦交流を深めるための新たな場づくりを検討する。

8) 広報活動の推進

- ① 「とちの実会だより」はナルク活動の情報発信と会員の投稿サロンとして期待が大きい更に、会報づくりに関心と興味のある会員の参加を希望する。
- ② 「ホームページ」は新鮮な活動報告と緊急な情報提供を行う魅力ある媒体とする。
- ③ 広く地元マスコミに接し、記事掲載と会員募集の効果を期待する。

9) アルミ缶収集キャンペーンの継続

アルミ缶を集めることと、整理する作業の会員活動であり、収益事業として貢献している。積極的な参加者を期待している。

10) ナルク栃木福祉調査センター体制の充実

福祉調査センターは事業活動であり、ボランティアナルクの運営に貢献しており、併せて地域密着型高齢者福祉施設の運営改善と利用者の安全と安心に大きく寄与している。該当する事業所の情報を得て受注増を目指す。また、年2回の内部研修会の実施と新規調査員の希望者を募るなど体制の強化を行う。

11) 他のナルク拠点・NPO・ボランティア団体との交流

エリア17北関東懇談会・関東地区懇談会・地元NPOとの交流で組織の活性化を図るとともに、企業との協働サービスの提携により会員高齢化による活動力不足を補う。

12) ナルク栃木「とちの実会」事務所への親しみと業務の充実

事務所当番の体験でナルク活動への理解と一層の親しみを深める。

13) 2019年2月の設立20周年記念に向けた取り組みを進める。

20年を振り返り新しく地域と会員の幸せに貢献する「ナルク」の目標創りの機会とする。